



令和4年度文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業選定（令和4年度～10年度、7年間）

埼玉・群馬の健康と医療を支える 未来医療人の育成 Newsletter

第4号

■ 発行 埼玉医科大学／群馬大学 Saitama Medical University / GUNMA UNIVERSITY

本プロジェクトで大切にしていること vol.4

群馬大学大学院医学系研究科 副研究科長 事業推進プロジェクトサブリーダー 小山 徹也

■新しい時代に即した埼玉・群馬の医療体制の充実に貢献します

埼玉医科大学・群馬大学医学部は地理的には近い位置にありながらも、経営母体や学校の歴史が大きく異なり、これまで別々の道を歩んできました。しかし近年、それぞれの大学、学部は創立50年、80年を迎えて、埼玉県・群馬県出身者が互いの大学を卒業したり、大学教員になることが多くなりました。加えて我が国の少子高齢化は深刻になり、医師過剰を含めた医療体制の変化という大きなうねりの中で、今後2030～40年に向けた新しい医療体制の構築、特に医師偏在、診療科偏在が大きな問題となっています。例えば埼玉県・群馬県の県境地域は（熊谷 深谷 本庄 藤岡 太田 館林など）最も医師が必要とされている地域です。このたび、埼玉医科大学を主体として、埼玉県、群馬県及び両県の医師会の協力を得て、未来医療人育成事業がスタートしました。坂東太郎と言われる日本で最も広い川の流域にすばらしい協力体制ができました。



本事業には5つのプログラムがあります。群馬大学では、特に地域医療学入門（はじめて学ぶ地域医療）と県境地域から学ぶ地域医療集中演習（利根川プログラム）を担当しています。前者ではすでに本年度授業が終わっており、アンケートを見ますと医学科以外では、保健学科の学生の参加が多く、理工学部、共同教育学部からも参加がありました。ミニレポートでは、それぞれの立場で地域医療に新たな発見があったと好意的評価でした。利根川プログラムでは病院見学が主体ですが、必修プログラムでないこともあり、参加者がまだ不十分と言えます。特に地域枠（地域医療枠）学生さんの積極的参加を期待します。

令和5年度開講のプログラム紹介（群馬大学）

プログラム4：はじめて学ぶ地域医療

群馬大学大学院医学系研究科 総合医療学講座 総合医療学分野 教授 小和瀬 桂子

■住民の視点に立ち「地域を知る」

群馬大学の1年生を対象とした「はじめて学ぶ地域医療」は、埼玉医科大学の「地域医療とチーム医療」との合同実施となっております。総合診療、救急、感染症、周産期医療、地域保健などを中心に、医療行政とのかかわりや地域での課題を学び考えると同時に、「群馬県や埼玉県はどのような地域なのか」を学生自身が調べ、互いに学びあう授業を展開しております。群馬大学が総合大学である強みを生かし、医学生だけではなく保健学科生、共同教育学部生、理工学部生、情報学部生も履修可能とすることで、入学後の早期から地域医療に関する多様な考えを学ぶ機会を提供しております。グループワークでは、班ごとに群馬県の10の二次医療圏を担当し、市町村の特徴を調べて地域の課題を考えました。群馬大学と埼玉医科大学をオンラインで結んで行った発表と質疑応答では活発な意見交換が行われ、白熱して時間が足りない程でした。

7月に前期の授業が終了いたしました。アンケートでの自由記載で「群馬だけでなく、埼玉のことも知る良い機会となりました。」「将来医療に直接的に関わらない人との意見交換ができたので、自分が医療現場に出た際に、とても参考にできるのではないかと思います。」「地域医療という言葉だけで重く感じてしまい、実際はどのような問題があるか、どう解決していくべきかを考えたことがありませんでしたが、自ら地域を調べる経験ができた。先生方が分野別に地域医療について教えてくださいましたので自分に近いものとして捉えられるようになりました。」といった意見が聞かれました。



グループワークと講義風景

プログラム5：県境地域から学ぶ地域医療集中演習（利根川プログラム）

群馬大学医学部附属病院 地域医療研究・教育センター 講師 羽鳥 麗子

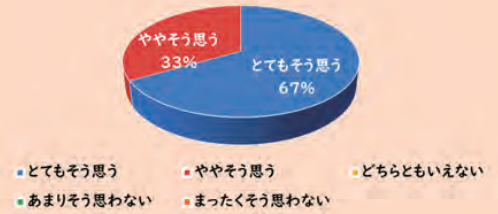
■埼玉・群馬の地域と医療の役割について学ぶ

令和5年度の夏、埼玉・群馬の県境地域の医療情勢について学習する「利根川プログラム」を新規開講し、埼玉医科大学生8名、群馬大学医学科生10名が履修しました。地域や住民の視点に立ち、両県の県境地域で抱える医療的課題について、両大学合同で学習しました。県境地域の関連医療機関を見学するバスツアーでは、小鹿野中央病院、済生会加須病院、埼玉県立循環器・呼吸器病センター、深谷赤十字病院（以上、埼玉県）、伊勢崎市民病院、公立藤岡総合病院、公立館林厚生病院、太田記念病院（以上、群馬県）の9つの医療機関に協力病院として御指導いただきました。

両大学の学生が、都市部の総合病院や山間部の急性期病院等、地域の病院で臨地実習に参加し、両大学合同で実施した振り返り学習（9月21日（木）、30日（土））では、「地域での学習」、「医師としての使命感」、「地域を担う医療」について、オンライン講義を行い、地域医療に関する活発な発言が聞かれました。海外からの移住者が多い地域での、「医療者としてのコミュニケーション」について、言語や文化の理解が必要であること、タブレットでの遠隔操作による翻訳の活用、他者に対するリスペクトなど、医療に関連した多岐にわたる課題について議論することができました。

履修生振り返りアンケートより

利根川プログラムの参加を、知人や後輩に勧めたいと思いますか



本事業のポスターが完成しました

本事業をPRするポスターが出来ました。ホームページ (<https://sgmirai.jp>) からダウンロードしてPRをお願いいたします。



令和5年度 シンポジウムのお知らせ

埼玉・群馬の健康と医療を支える 未来医療人の育成シンポジウム

総合的に患者・生活者をみるー地域・人生・プライマリケアー

令和6年**2月29日（木）**13:30～16:00（予定）

会場：レイボックホール 7階小ホール（市民会館おおみや）

埼玉県さいたま市大宮区大門町2-118 大宮駅東口徒歩3分

※参加費無料 ウェビナー使用ハイブリッド型開催

第1部：特別講演

「総合診療の動向（仮）」

講師 筑波大学地域医療教育学 教授 前野哲博氏
（筑波大学附属病院 副病院長・総合診療科科長）

第2部：未来医療人の育成プログラム紹介

埼玉医科大学・群馬大学学生および教員によるプログラム振り返り

※プログラム等の詳細が決まりましたら、ホームページでお知らせいたします。



埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成 Newsletter 第4号

編集・発行：埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業事務局
住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
TEL：049-276-1109
発行日：2023年11月
E-mail：sgmirai-smu@saitama-med.ac.jp
URL：https://sgmirai.jp

無断転載禁止

